

記念碑・桜植樹・コンサート・震災シンポ

KSC20周年 多彩なプラン出揃う

シルバーカレッジの開校20周年記念事業が7月初めまでにほぼ固まりました。10月9日（水）から12日（土）までの4日間にわたって記念式典と震災シンポジウム、コンサート、学園祭が順次開催され、カレッジは賑やかなお祝いムードに包まれます。校是を刻んだ記念碑は10月までに完成の予定で、記念の桜は年末をめざして植樹の準備が進んでいます。

【記念式典】9日10時からカレッジホールで。

神戸市長の祝辞、吾郷信幸福祉振興協会専務理事の祝辞、今井鎮雄学長の挨拶。新野幸次郎・福祉振興協会長の記念講演「これからのKSC展望」。

【シンポジウム・KSCの震災ボランティア】

9日午後1時～4時、カレッジホールで。グループ〈わ〉が主催。「阪神から東北へーKSCの震災ボランティア18年」をメインテーマに、第1期生から20期生につながるカレッジの震災支援活動を考える。映像と体験談、3年間にわたる東北支援活動報告。宮城から招くゲストによる講演、神戸市消防音楽隊による演奏。パネル写真展示。東北物産販売など。

【コンサート】10日のジョイラックデーに開催。午前、音楽室でピアノ連弾（クラシック）、午後、

カレッジホールで、和太鼓松村組の演奏。

【学園祭】11日にリハーサル、12日に開催。ほぼ例年通りの規模と内容で、学園祭実行委員会が企画・運営。テーマは「開校20周年“再び学んで他のために”」。

【記念碑】「再び学んで他のために」の校是を高さ80cm、幅120cmの花崗岩に刻んで玄関前に建立。今井鎮雄学長が揮毫。式典の前に、関係者で除幕式を行う。

【記念植樹】桜の苗木30本を通学路沿いの西斜面や駐車場などに植樹。卒業生、在校生に1口1,000円の寄付を呼びかける。



桜が植樹される通学路西斜面

【記念誌】カレッジ20年の歩みを振る内容で、3000部発行。A4判、約80ページ。（1冊500円）寄付金1口以上の方には進呈。

学習支援の幅を広げる努力を

25年度第1回学習支援の集いが4月30日午後、しあわせの村・研修館で開催され約40人が参加しました。市教委から生涯学習課の丸山明夫氏ら2人をアドバイザーとして招き、体験発表とフリートークが行われました。

24年度は55校から要請があり、学習支援などは要請にこたえられたが、特別支援は8割弱にとどまりました。登録者は102人。実働は46人でした。新しく学習支援委員長に就任した西田圭一氏（生9）は



こうした現状をふまえ、「未登録の支援者を含めた支援制度を作り、灘・垂水など支援の要望に応えられない地区をなくす努力をする。そのためには、グループ〈わ〉のサポートも必要だ。活動の幅を広げ、子ども達をどう育てていくかを考え、

実りのある活動を展開したい」と今年度の方針を語りました。

西区狩場台小で算数を教えている堺壽代さん（音9）は、「一昨年のゆとり教育見直しで、カリキュラムに余裕がなくなり3、4年生の算数支援などを中止せざるを得なくなった」と現状を報告しました。

西区春日台小で特別支援をしている橋野美子さん（一般）と、北区小倉台小の長谷川雅江さん（福9）からは「知的障害、身体障害、自閉症などの児童は細心の注意を払う必要がある。介助を行う場合は出来る限り手を出さず、言葉を添えてほめてあげる、辛抱強く待つ、声をかける、といった姿勢が大切です」との指摘がありました。神戸っ子応援団の動きについては、市教委から説明はなく、参加者からの意見もありませんでした。（広報：北村洋）